

保護者向け
公表日 令和3年3月31日

放課後等デイサービス評価表（公表）
回答率：71% 事業所名 多機能型重症児デイすいんく

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	対応
子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3			密な空間とならぬよう、7月末に別棟が完成予定です。よりゆとりのある活動スペースとなります。
職員の配置数や専門性は適切であるか	14			・人数が増えたのでわかっていません	スタッフが増えましたので、今年度は会報などを通じて、スタッフ紹介をさせていただければと思います
事業所の設備などは、スロープや手すり設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	2			施設内は、車椅子が段差なく通れるようになっています
子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15				今年度は皆様と面談しての計画立案が難しい状況でした。ヒアリングシートを作成し、計画立案をしました。
活動プログラムが固定化されないように工夫されているか	13	2			活動プログラムは、個々の感覚特性に合わせた支援方法のため、介入方法は一人一人違います
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	4	・交流があったらいいと思うが、スタッフさんの負担も考えると大変だと思う。重症児の移動も大変だと思う	利用者特性・感染症等考慮しながら、交流の可否を判断して参りたいと思います

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	対応
支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				障害児通所支援サービスや他の障害福祉サービスを利用されたことがないご家庭につきましては、細かに説明をさせていただいております
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	13	2			令和3年度は、ご家庭で感じている問題点の抽出などを細かに実施する予定です
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	4		・コロナの為ないですね	令和3年度は面談以外でも、送迎時などにご家庭における不安や必要時に助言等を実施して参りたいと思います
父母の会の活動の支援や、保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	6	・コロナ禍でもあるため、保護者同士の活動は難しいと思う ・年一回くらいでいいので茶話会みたいなのがあってもいいと思う（希望制で）	
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3		・LINE活用は有難いです	令和2年度は、ご利用されているご家庭の皆様との綿密なやりとりが至らない部分がありました。令和3年度は対応体制の強化を図って参りたいと思います
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2			

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	対応
定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2			現在HPの更新が止まっておりますが、令和3年度は積極的に活用できるように、整備いたします
個人情報に十分注意しているか	15				当法人事業における、個人情報の取り扱い方法について、利用されているみなさまにわかりやすいよう周知して参ります
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	15				避難訓練は実施しておりますが、被害等想定した訓練ができておりませんので、令和3年度は非常災害時に即座に対応できるよう、月に1度の訓練を含めた研修を実施して参ります
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2			
子どもは通所は楽しみにしているか	14			・嫌がったことはなく、本人の表情を見たり、連絡帳を読ませていただくと、楽しんでいることがよくわかる	
事業所の支援に満足しているか	13	2		・この地域で唯一の重症児のデイで存在していただけるだけで、保護者として大変心強く、有難い限りです。ただ、心配事があるとすると児童増によるスタッフさんへの負担が増えてしまうことです（重症児のケアや接することはかなり神経をつかうと思うので...）負担増が離職につながらないことを願います	非常に温かいお言葉をいただき感謝するとともに、皆様に、より安全・安心にご利用いただけるよう、スタッフ一同勉強に励み、支援につなげて参りたいと思います。また、スタッフの離職につながらないよう、スタッフのやりがい創出、身体的負担への配慮など様々な取り組みを行なって参ります。